

あおぞら学級（知的障がい） 英語科学習指導案

指導者 塚 祐一

1 単元名 「表現活動 “About myself”」

2 目標

○既習の英文を使って『自分』について5文程度書いたり話したりすることができるようにする。

【知識及び技能】

○聞き手に伝わるように自己紹介の内容を作ることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

○自己紹介活動を通して、楽しみながらコミュニケーションをとることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

3 計画（14時間）

知：知識・技能 考：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

【書く活動はゴシック体】

次	学習活動・内容	『問い』	教師の支援	評価の観点
一 4 時間	1. 英語のあいさつ、自分の好きなものについての会話練習をする。（帯学習） ・ What day is it today? It is ----. What is the date today? It is ----. How is the weather today? It is ---. Do you like ~? (~ sports, fruit, English, blue etc) Yes, I do. / No, I don't.		○単語、英文をスムーズに読めるようになるため、タブレットで練習をさせる。 ○英文とその意味が合致するように学習プリントで英文に意味をチェックさせる。	知：be 動詞の使い方に理解している。
二 2 時間	2. 練習した表現を使って、「自分の好きなもの」というテーマで自己紹介文を書く。 ・ I am ----. I like ----. -----etc. 【書く活動Ⅱ】 (1) 英文を書く。 (2) 英文の読み練習する。 (3) 交流する。	○聞き手に自分のことわかりやすく紹介するには。	○自己紹介文のイメージをつかませるために、いくつか例を提示する。 ○練習した会話表現がより定着させるために、音読を行う。 ○スピーチ文の交流を効果的にするために、タブレットに録画させそれを視聴させる。	考：be 動詞や一般動詞を用いてまとまりのある文章を書いている。
三 5 時間	3. 英語のあいさつ、自分の好きなものについての会話練習をする。（帯学習） ・ What sport do you like? I like ----. What subject do you like? I like ---. -----. When is your birthday? My birthday is--. Were you busy yesterday? Yes, I was / No, I wasn't Did you eat breakfast today? Yes, I did. / No, I didn't. etc.		○単語、英文をスムーズに読めるようになるため、タブレットで練習をさせる。 ○英文とその意味が合致するように学習プリントで英文に意味をチェックさせる。	知：be 動詞や一般動詞の使い方に理解している。
四 本時 1 ／ 2	4. 練習した表現を使って、自己紹介文を書き、発表練習をする。 【書く活動Ⅱ】 (1) 自己紹介文を書く。 ・ I am ----. I like ---. My birthday is----. etc.	・聞き手にわかりやすい紹介文を作るには。	○既習の内容を想起させるため、ゲーム活動を行う。	考：be 動詞や一般動詞を用いてまとまりのある文章を書いている。
2 時間	(2) みんなの前で自己紹介の練習をする。		○練習した会話表現がより定着させるために、音読を行う。 ○スピーチ文の交流を効果的にするために、タブレットに録画させ、それを視聴させる。	
五 1 時間	5. ALTに一人ずつ自己紹介する。 (1) ALTの先生に自己紹介をする。 【書く活動Ⅲ】 (2) 本単元を通して学んだことを振り返る。		○聞き手に伝わる紹介ができるよう、効果的に伝えるためのポイントを確認する。	態：楽しみながらコミュニケーションをとっている。

4 本時 令和5年11月10日（金） 第5校時 1年1組教室

5 【前期：連携活用期】

○ 英語科における「見方・考え方」

・他者との関わりの中で、コミュニケーションを行う目的、場面、状況等に応じて、情報を整理して考えを形成し、表現する。

・『問い』→『聞き手に伝わるような、自己紹介文を作るには、どうすれば良いだろうか。』

6 本時の主眼

○ 練習した英文を使って、相手に伝わりやすい自己紹介文を書くことができる。

7 本時の指導観

本学級は、知的障がいの特別支援学級で、英語に対して意欲的な生徒もいれば、人前で話したり言葉で自分のことを表現したりすることが苦手な生徒もおり様々である。そこで本活動の指導に当たっては既習の学習内容（1年）を活用して書くことを定着させ、それを発表する活動を通してコミュニケーションのスキルの向上をねらいとする。そのために、既習の学習内容をくり返し使って会話練習を行ったり、表現活動をするをしたりすることで、コミュニケーションのスキル向上と英語の有用観を味わわせる活動につなげていく。

8 本時の過程

学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点	形態	配時
1. 会話練習をする。 2. すごろくゲームをする。 3. めあての確認をする。 聞き手に伝わりやすい自己紹介文を作ってみよう。	○まず教師と会話練習をして既習の単語や英文を想起させる。さらにゲームを活用して、復習する。		全	10
4. 自己紹介文を作成する。 (1) 今回の自己紹介文の書くポイントを知る。 (2) 自己紹介文の書き方についての説明を聞く。 ① My name is ---. で始める。 ② 7文以上でまとめる。 ③ 前回より詳しく。 【書く活動Ⅱ】 (3) 学習プリントに5～7文を作成する。 前回のモデル文 I am / My name is (). I am a () fan. My birthday is (). I like (). I like (). 今回のモデル文 I am / My name is (). I am a () fan. My birthday is (). I like (). ----- I like (). ----- (4) 自己紹介文を音読練習する。 ① 各単語を確認しながら読む ② 英文をすらすら読む。 ③ アイコンタクトやジェスチャーを交えて練習する。	○前回の自己紹介文を想起せて、書くポイントをつかませる。 ○理解を促すために、ICTを活用してモデル文を提示する。 ○副詞や1文付け足しなどをして詳しい文にするよう促す。 【見方・考え方】 ○自己紹介文がスムーズに作成できるよう促すために、個に応じた支援を行う。 ○個に応じた指導 生徒 A：既習の内容を想起させるために学習プリントを活用する。 生徒 B：既習の内容を想起させるために学習プリントを活用する。 生徒 C：意欲を向上させるために必要に応じて声掛けを行う。 生徒 D：意欲を引き出すためにスモールステップを心掛け、必要に応じて声掛けを行う。		全 個 個 個	2 3 20
5. 本時の学習内容をまとめる。 (1) 本時で学んだことを振り返る。	○振り返りを促すために、これまでの生徒の良さや頑張り伝える。		全	5

考：be 動詞や一般動詞を用いて、相手に伝わりやすい自己紹介文を書いている。

9 書く活動についての説明

(1) 書く活動Ⅱ

①【既習の知識】

- ・ b e 動詞の入った英文
- ・ 一般動詞を使った英文
- ・ 疑問詞で始まる英文
- ・ 過去の文

【問い】

1年で習った英文を使って、聞き手に伝わりやすい自己紹介を書こう。

②、③、④は順不同

具体化

②【事実】

- ・ b e 動詞の入った英文
- ・ 一般動詞を使った英文
- ・ 疑問詞で始まる英文
- ・ 過去の文

④【主張】（自己紹介文）

My name is ----.
My birthday is ----.
I like sports. I like English.
I like apples. Thank you.

③【理由付け】

- ・ 自分の名前を伝えるためにはどんな表現を使えばいいか。
- ・ 自分の好きな事や得意なことなどを表現するには、どんな動詞を使ったらよいか。
- ・ 相手にわかりやすく伝えるためには、英文をどう組み立てたらよいか。

(2) 書く活動Ⅲ【学んだ内容・自分の考えの変容・学びの発展、転移性】

*単元計画の五次において

まとめ

『何を』

【これまでに学んだことの明確化】

- be 動詞を使って自分の名前などを表現できる。
- 自分の好きな事を言いたいときは、一般動詞 like を使えばよい。

振り返り

『どのように』

【既習の学習と新しく学んだ考え方を つなげてまとめる】

- いろんな一般動詞を覚えれば、いろんなことを表現することができる。
- 友達紹介や家族紹介などのテーマでいろんな英文を書くことができるようになりたい。